

# 株式会社ライトワークス 2025年1月期 第2四半期 決算説明資料

2024年9月  
東証グロース：4267

LIGHTWORKS

01	2025年1月期 第2四半期 実績	……	P 3
02	サービス別売上高および売上総利益率の推移	……	P 10
03	ソフトウェア減価償却費の推移とROE対策	……	P 14
04	2025年1月期 第2四半期 トピックス	……	P 17
05	2025年1月期 通期業績見通し	……	P 19

01

2025年1月期 第2四半期 実績

# 2025年1月期 第2四半期累計 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2024年1月期 第2四半期累計実績	2025年1月期 第2四半期累計実績	前年同期比
売上高	1,496	1,701	+13.7%
売上総利益	561	608	+8.4%
営業利益	81	109	+34.7%
経常利益	81	105	+29.2%
親会社株主に 帰属する 中間純利益	103	70	▲32.4%
※特別利益を除いた 親会社株主に帰属する 中間純利益	55	70	+26.1%

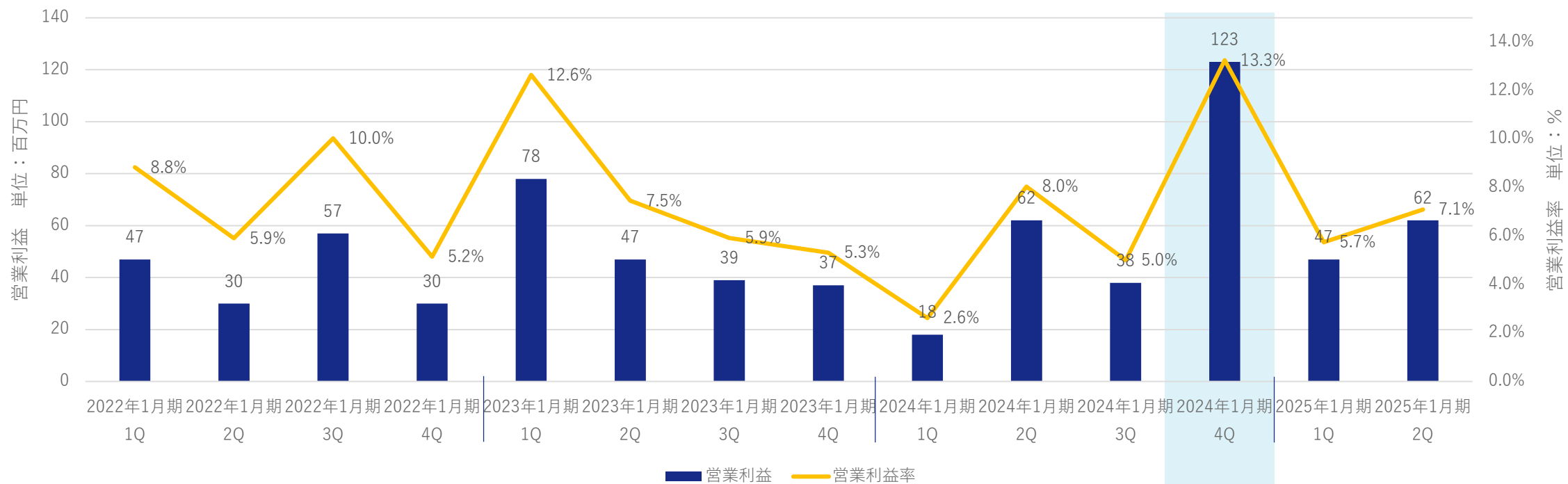
- ✓ 売上高は前年同期比+13.7%の増収となりました。
- ✓ 前期と比較してソフトウェア減価償却費、インフラ費用、人件費などは成長に伴い増加しているものの、前期に発生した採用費などの一時的支出が抑制された結果、営業利益は前年度比+34.7%の増益となりました。
- ✓ 上記の結果、親会社株主に帰属する中間純利益は70百万円となりました。一方、2024年1月期第2四半期は、特別利益67百万を計上しております。その影響を除くと、実質26.1%の増益となっております。

# 連結営業利益及び営業利益率 四半期ごとの推移

(百万円)

四半期別 営業利益 営業利益率

大口案件開始集中などによる大幅増収の影響



2022年1月期

2023年1月期

2024年1月期

2025年1月期

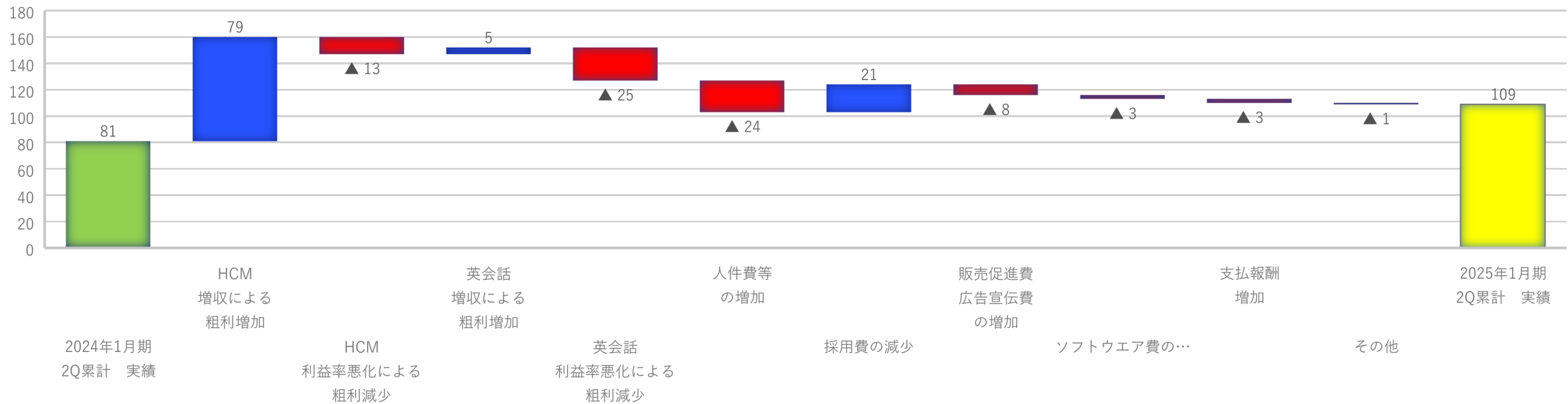
# 2025年1月期 第2四半期 連結営業利益 対前期差異要因

(百万円)

売上および売上総利益率による要因

成長に向けた経費の先行投資による要因

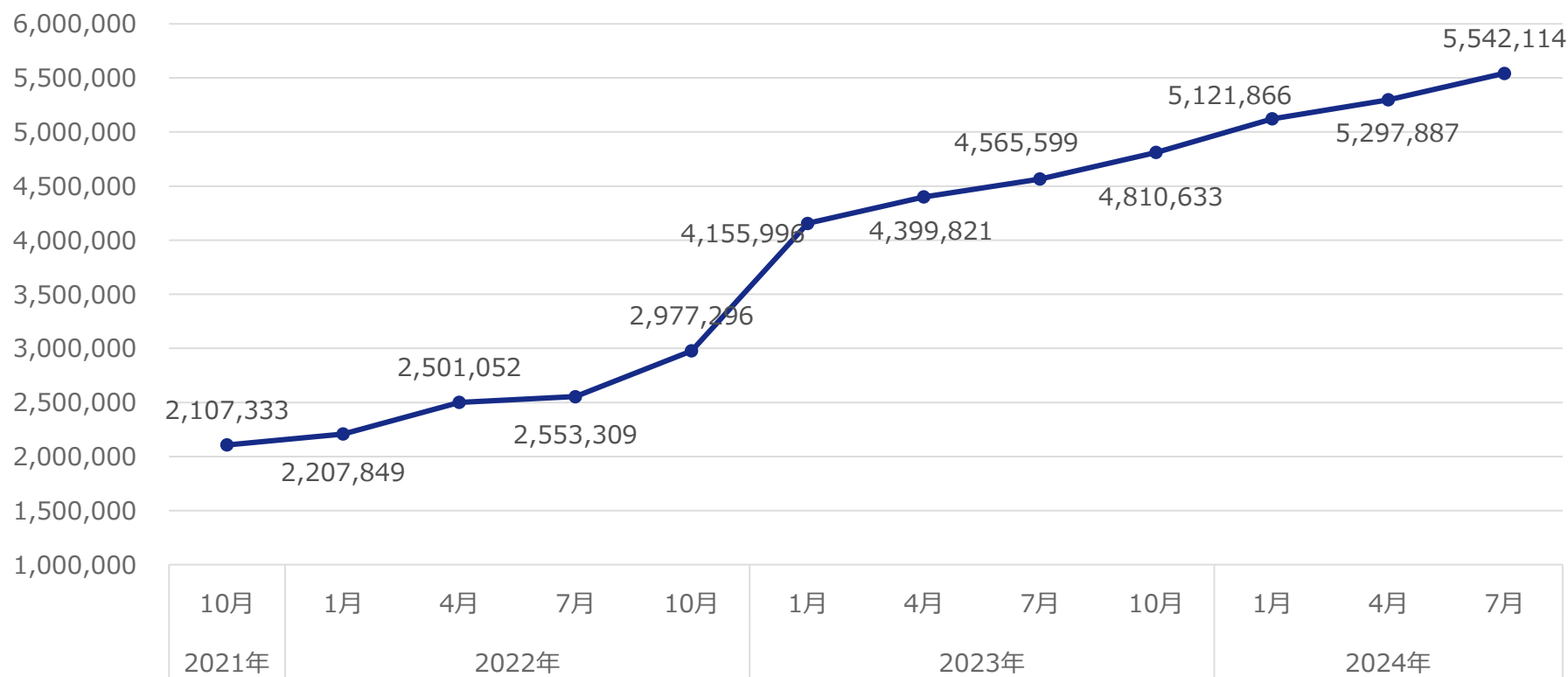
## 2025年1月期 第2四半期累計 連結営業利益 対前期差異 要因



## CAREERSHIP®の利用者数

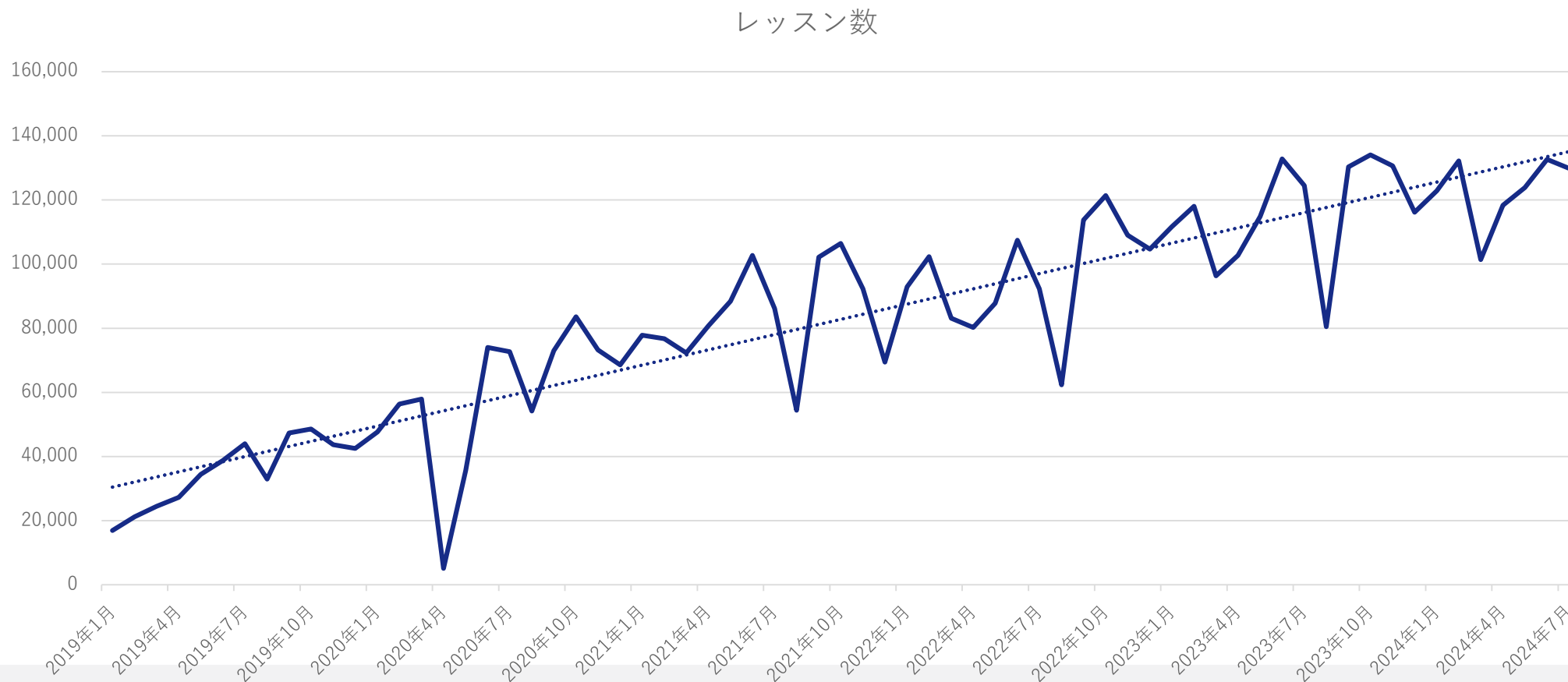
2025年1月期第2四半期も引き続き利用者数は増加、前四半期比で約24万ID増加。

CAREERSHIP登録ID数推移（四半期末時点）



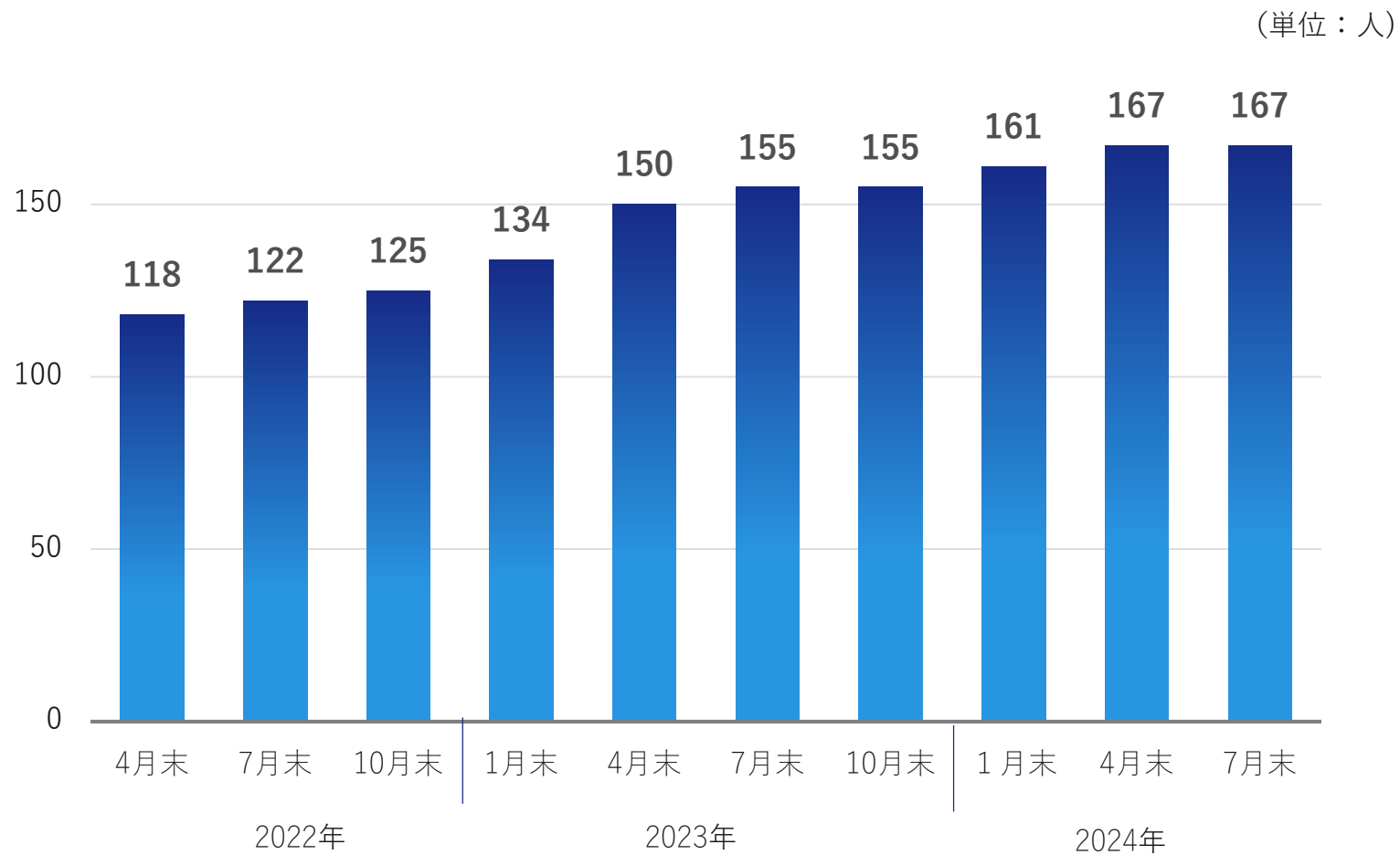
## オンライン英会話サービス 月間提供レッスン数

季節変動はあるものの、一月あたり平均1,700レッスン数ほど増加。





## 従業員数



- ✓ 2024年7月末は2024年1月末から6名の増加。
- ✓ 事業規模拡大を見込んで先行していた採用活動は一旦落ち着き、今後採用数は抑制する予定です。

02

サービス別売上高 および  
売上総利益率の推移

## 2025年1月期 第2四半期累計 サービス別業績

## サービス別前年度比較

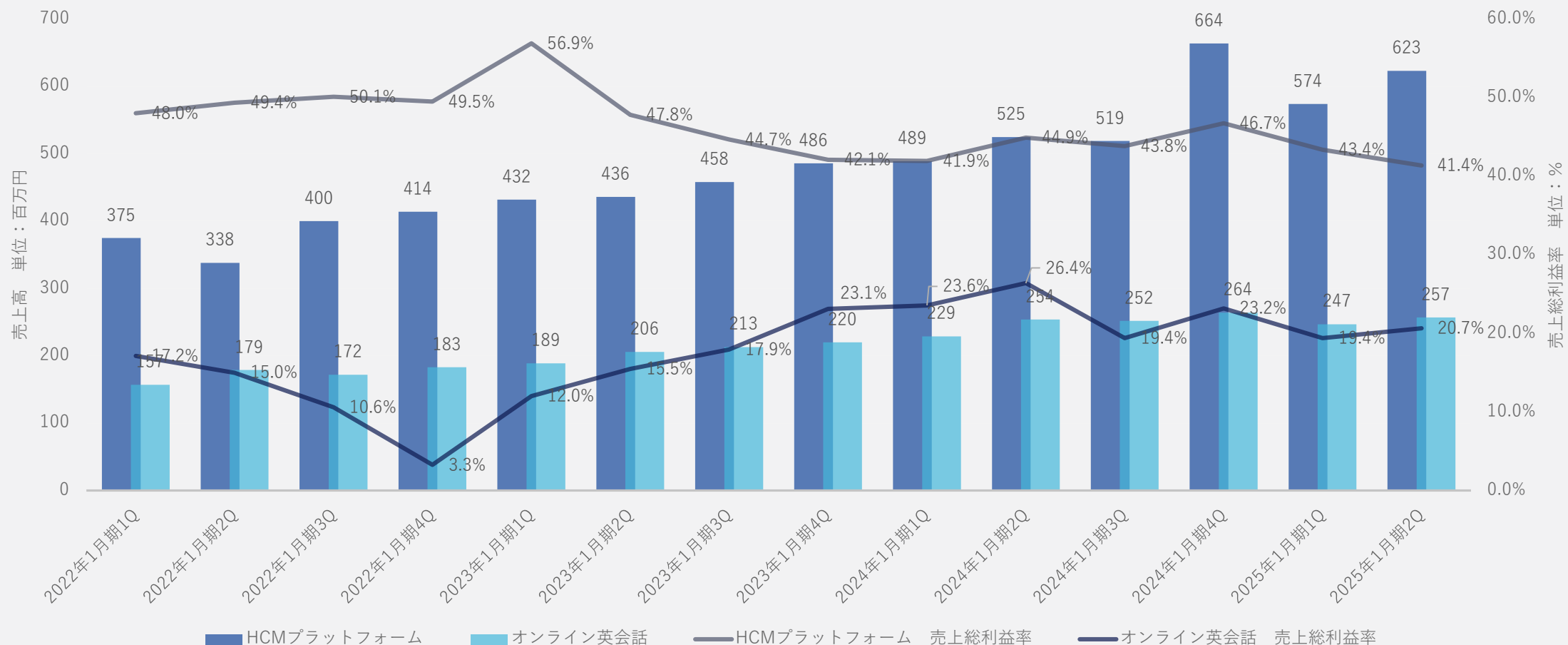
単位：百万円

	HCMプラットフォームサービス				オンライン英会話サービス			
	2024年1月期 第2四半期 累計	2025年1月期 第2四半期 累計	差異	増減率	2024年1月期 第2四半期 累計	2025年1月期 第2四半期 累計	差異	増減率
売上高	1,013	1,197	183	18.1%	482	503	20	4.3%
売上原価	572	690	117	20.5%	361	402	40	11.3%
売上総利益	440	506	66	15.0%	120	100	▲20	▲16.5%
売上総利益率	43.5%	42.3%	▲1.1%	—	25.1%	20.0%	▲5.0%	—

- ✓ HCMプラットフォームサービス：売上は順調に推移している一方、前年同期比でソフトウェア減価償却費、インフラ費用等は増加しており、売上総利益率は対前年同期比で悪化しました。
- ✓ オンライン英会話サービス：売上は順調に推移している一方、急激な円安と講師センターのあるフィリピンでの賃金上昇により講師代が高騰しており、売上総利益率は対前年同期比で悪化しました。
- ✓ 上記以外にその他サービス売上が若干あります。

# サービス別 売上高および売上総利益率 四半期ごとの推移

(百万円)



コロナ影響や講師センターのあるフィリピンでの災害による影響

2022年1月期4Qからずれ込んだ大口案件の初期導入支援等による一時的な利率向上

大口案件集中による売上増加

## サービス別 売上高および売上総利益率 要因

### 【サービス別売上高 要因】

- ✔ HCMプラットフォームサービス、オンライン英会話サービスとも順調に推移しています。
- ✔ HCMプラットフォームサービスは**前期契約案件の稼働開始が連続**しており、売上は順調に推移しております。
- ✔ オンライン英会話サービスは学校向けサービスが終了した一方、**BtoCサービス（クラウドティ）が安定して成長しており、**更なる成長が見込まれます。

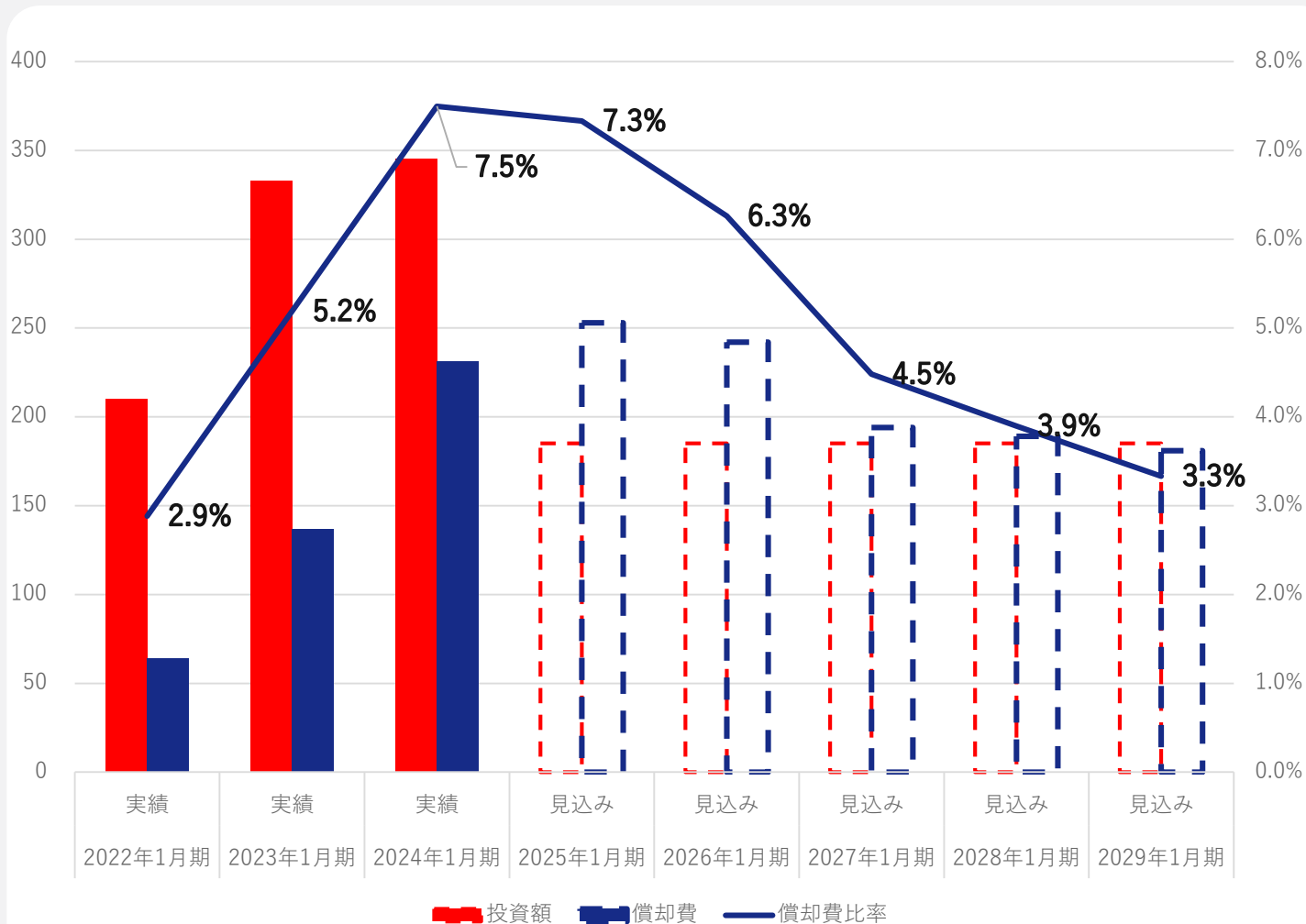
### 【サービス別売上総利益率 要因】

- ✔ HCMプラットフォームサービスはサーバーの置き換えなどの施策の効果により、原価率が増加しておりますが、減価償却費に影響を及ぼす開発投資については既にピークを過ぎており、以降は通常の新規機能開発のみを行う方針であるため、**今後徐々に売上総利益率は向上していく見込み**です。
- ✔ オンライン英会話サービスは急激な円安及び講師センターのあるフィリピンの大幅な賃金上昇による影響で講師代が増加しており、売上総利益率は前年度比で大幅に悪化しております。今後は、**価格改定と講師人員体制の効率化をより強化し、**売上総利益率の向上を目指します。

# 03

## ソフトウェア減価償却費、サーバー費の推移とROE対策

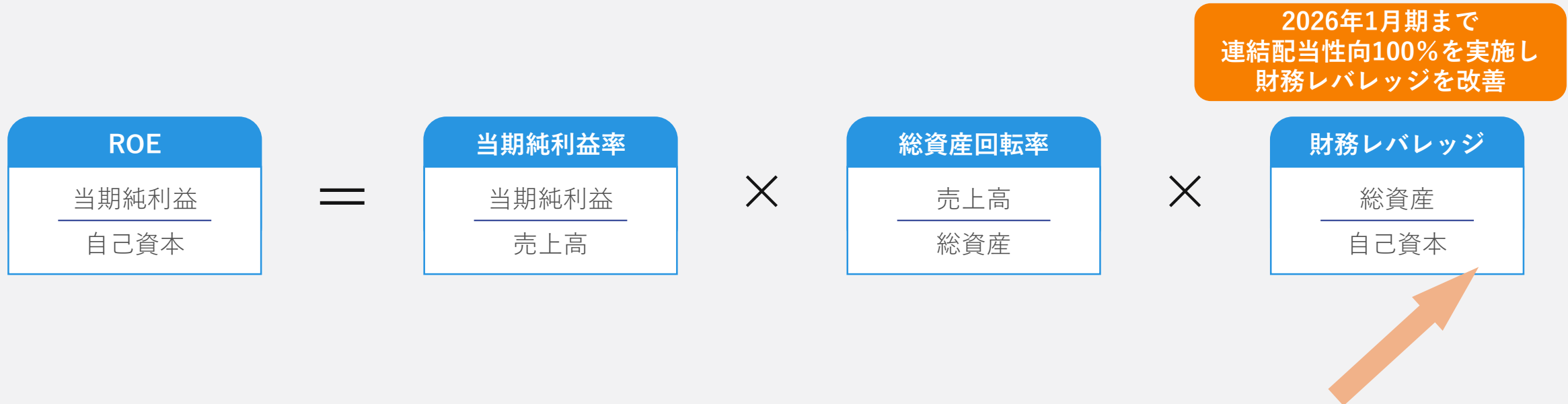
# ソフトウェア減価償却費 見込み



ここ数年大規模バージョンアップを実施中であり、また、2023年1月期よりパフォーマンス改善を行うべく投資額を増強しております。前者については既に開発のピークは過ぎており、今後は定常的な機能追加開発のみを行う予定です。それに伴い、減価償却費は左の図の通り推移する見込みとなっています。2025年1月期をピークに2026年1月期までは年間2億円を超える償却費水準が続きますが、その後は徐々に低下する見込みです。

一方、売上高については受注残の推移などから対前年比で10%から15%の安定的かつ継続的な成長を見込んでいます。これらが現状の見込みで推移する場合、償却費の対売上高比率は2025年1月期をピークに徐々に低下していき、2027年1月期以降は5%以下になる見込みです。

# 2026年1月期までのROE向上のための対策方針 ①



安定的かつ継続的な売上高の成長の一方、ソフトウェア減価償却費とサーバー費の高止まりによって、当期純利益率ならびに総資産回転率は2026年1月期までは大きな改善は見込んでおりません。そこで、ROEの改善を図るべく配当政策の基本方針の変更（配当性向100%）によって自己資本の抑制を図り財務レバレッジを改善してまいります。



04

2025年1月期 第2四半期  
トピックス

# 2025年1月期 第2四半期 トピックス

## ▼ 弊社HP・ニュースリリースより抜粋

### NEWS RELEASE



株式会社ライトワークス  
2024年6月10日

ライトエデュケーションとインターネットイニシアティブが協業し、  
専門学校向けIT教育サービスを提供開始

企業向け学習管理システム（LMS）「CAREERSHIP®」などを提供する株式会社ライトワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役：江口夏郎）は、当社の連結子会社である株式会社ライトエデュケーション（本社：東京都千代田区、代表取締役：松林洋太、以下、「ライトエデュケーション」）が、株式会社インターネットイニシアティブ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝栄二郎、以下、「IITJ」）と協業し、専門学校向けIT教育サービスの提供を開始することをお知らせいたします。

#### 【背景と目的】

現在、日本においてIT人材が著しく不足しており、2030年にはその不足数が80万人以上にも及ぶと報じられています。その中でも情報システム部門の人員や、インフラ・ネットワークエンジニアの不足は深刻で、その育成にかかる負担も課題となっています。

専門学校においても、ITを学びたい学生のニーズは増加している一方で、技術トレンドの変化に対応しながら実践的なスキルを教育することは容易ではありません。企業と教育機関双方の課題解決が求められている中、より多くの学生が楽しくITを学び、働く現場で活躍できる社会人へと育つように、教育機関向けの学習システムを提供するライトエデュケーションと、ネットワーク・セキュリティ分野で先進的な技術的知見を持つIITJが協業し、専門学校にIT教育サービス（インフラ・セキュリティエンジニア育成パッケージ）を提供することといたしました。

#### 【専門学校向けIT教育サービスの概要】

ライトエデュケーションは、最新のICTを駆使したオンライン学習サービスや、そこで得たノウハウを活かした学習塾向けの運営システム・eラーニング教材を提供しています。これらの実績から、学習者が「楽しかった」と感じる学習体験の提供に強みを持っています。

IITJは1992年、日本で初めての国内インターネット接続事業者として創業以来、インターネット業界のパイオニアとして、ネットワーク、クラウド、セキュリティ、モバイル、システムインテグレーションなどの事業をグローバルで展開し、本領域において先進的な知見と実績を有しています。

このたびライトエデュケーションが提供開始する専門学校向けのIT教育サービスは、IITJが専門的知見に基づ

## 👉 子会社ライトエデュケーションと株式会社インターネットイニシアティブ、専門学校向けIT教育サービス提供を開始

最新のICTを駆使したオンライン学習サービスや、学習塾向けの運営システム・eラーニング教材を提供するライトエデュケーションは、日本で初めての国内インターネット接続事業者として創業以来、インターネット業界のパイオニアとして本領域における先進的な知見と実績を有する株式会社インターネットイニシアティブとの協業により、専門学校向けのIT教育サービス（インフラ・セキュリティエンジニア育成パッケージ）を提供することといたしました。

本サービスは、提携校である専門学校 那覇日経ビジネスに導入され、既に2025年4月の開講に向けた募集を開始しております。

ライトエデュケーションは、本サービスの提供を通じて、即戦力になり得るIT人材の育成に貢献してまいります。

05

2025年1月期 通期業績見通し

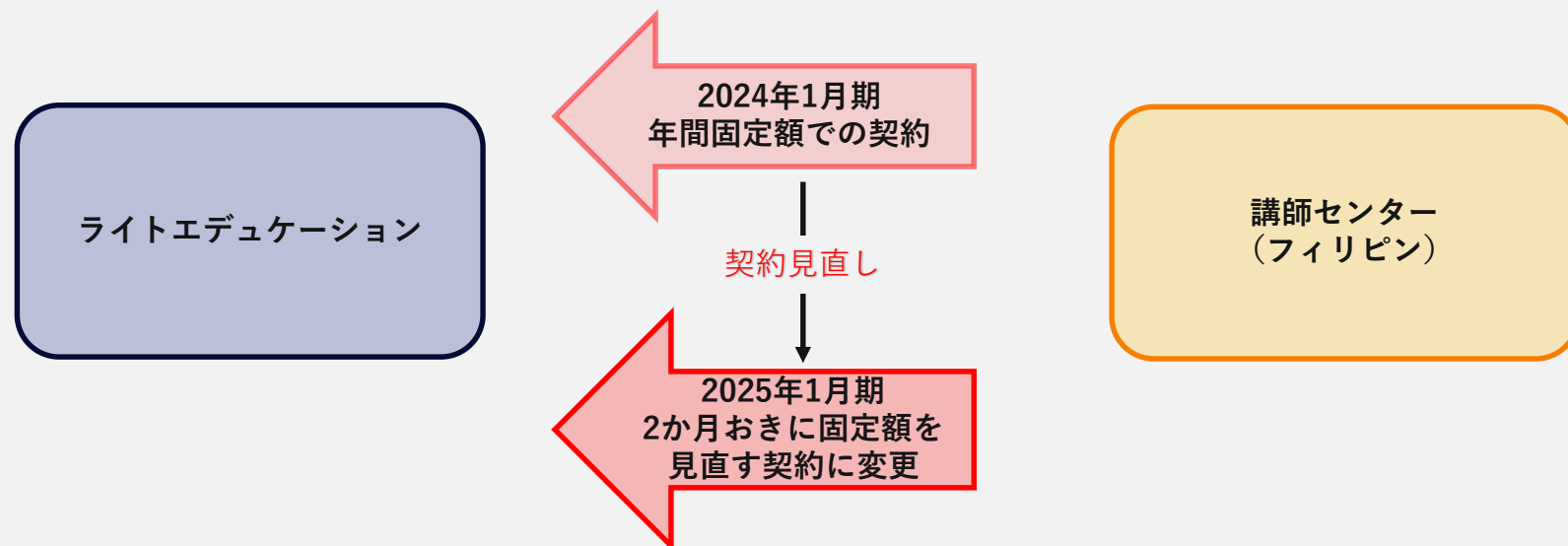
## 2025年1月期 業績予想

(単位：百万円)

	2024年1月期 実績	2025年1月期 業績予想	前年比
売上高	3,199	3,634	+13.6%
営業利益	243	271	+11.8%
経常利益	244	272	+11.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	221	178	△19.3%
※特別利益を除いた親会社株主に帰属する当期純利益	172	178	+3.4%

- 2024年1月期は保険返戻金67百万円を特別利益に計上した影響で親会社株主に帰属する当期純利益が48百万円程上振れております。なお、特別利益の影響を除いた2024年1月期当期純利益は172百万円であります。
- 2025年1月期売上高は、引き続き好調なHCMプラットフォームサービスの売上増加を中心に前年比+13.6%で見込んでおります。

## オンライン英会話サービスにおける為替影響について



オンライン英会話サービスの講師は、フィリピンの講師センターから提供を受けており、2024年1月期は円建ての年間固定額契約（1ペソ＝2.0円で換算した額）を締結しておりましたが、円安の影響やフィリピンでの労働費を中心としたインフレの影響が顕著であり、かつその影響が短期間で生じていることを鑑み、今期の契約は2か月おきに為替レートを考慮し締結を見直すことといたしました。現在はおおよそ1ペソ＝2.6円程度で推移しておりますが、為替相場が悪化（円安）した場合は、講師センターとの契約を見直すことになるため、当社グループの連結数値に影響を及ぼす可能性があります。

## 本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。

このような将来予測に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。